

## 関西経済等へのおもな影響（統計データ）

○【全般】	近畿財務局 管内情勢報告	・・・ 1
○【おもな業種別】		
(1)	小売業 百貨店・スーパーの販売状況（令和2年11月）	・・・ 2
(2)	運輸業 JR西日本 年末年始期間の利用状況	・・・ 3
(3)	宿泊業 宿泊施設タイプ別客室稼働率（全国数値）10月	・・・ 3
(4)	自動車製造 新車販売台数（全国数値）12月	・・・ 3
○【新型コロナウイルス関連破たん状況】		・・・ 4
○【雇用関係】		・・・ 4
○【観光関係】		
(1)	訪日外客数	・・・ 4
(1)	関西国際空港利用状況	・・・ 5
○【今後の予測】		・・・ 5
○【その他】		・・・ 5



## 関西経済等へのおもな影響（統計データ）

【全般】 近畿財務局 管内情勢報告 1月28日

## ○総括判断

【総括判断】「管内経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるなか、一部に弱さがみられるものの、持ち直しつつある」

項目	前回（2年10月判断）	今回（3年1月判断）	前回比較
総括判断	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、持ち直しの動きがみられる	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるなか、一部に弱さがみられるものの、持ち直しつつある	→

## ○各項目の判断

## 【各項目の判断】

項目	前回（2年10月判断）	今回（3年1月判断）	前回比較
個人消費	持ち直しつつある	新型コロナウイルス感染症の再拡大の影響により、持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている	↘
生産活動	緩やかに持ち直しつつある	持ち直しつつある	↗
雇用情勢	新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きとなっている	新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きとなっている	→
設備投資	2年度は前年度を上回る見込みとなっている	2年度は前年度を上回る見込みとなっている	→
企業収益	2年度は減益見込みとなっている	2年度は減益見込みとなっている	→
住宅建設	前年を下回っている	前年並みとなっている	↗
輸出	前年を下回っている	前年を上回っている	↗

## 【先行き】

先行きについては、新型コロナウイルス感染症の影響が続くなかで、感染拡大の防止策を講じつつ、持ち直しの動きが続くことが期待される。ただし、国内外の感染症の動向や金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。

## 【おもな業種別】

(1) 小売業 百貨店・スーパーの販売状況（令和2年11月）

・概況

前年同月比7.7%減（全国3.5%減） 14ヶ月連続で前年を下回った

・商品別にみると、「衣料品」、「その他の商品」等すべての商品が前年を下回った。

・前半は比較的健闘したが、後半は感染者数の増加と最低気温の高止まりが売上げに影響。（百貨店）

（出典：近畿経済産業局 百貨店・スーパー販売状況11月速報）

[業態別販売額及び前年同月比]

(単位:百万円、%)

	総合			百貨店			スーパー		
	販売額	前年同月比		販売額	前年同月比		販売額	前年同月比	
		全店	既存店		全店	既存店		全店	既存店
近畿	296,665	▲ 7.7	▲ 7.0	108,158	▲ 16.5	▲ 15.3	188,507	▲ 1.7	▲ 1.1
福井	7,032	9.3	▲ 0.5	X	X	X	X	X	X
滋賀	21,773	▲ 1.2	3.2	X	X	X	X	X	X
京都	37,992	▲ 9.2	▲ 8.6	17,826	▲ 14.7	▲ 14.7	20,165	▲ 3.6	▲ 2.0
大阪	136,298	▲ 11.6	▲ 11.6	65,980	▲ 18.4	▲ 18.4	70,317	▲ 4.2	▲ 3.4
兵庫	67,199	▲ 3.4	▲ 1.8	17,070	▲ 11.2	▲ 6.3	50,130	▲ 0.5	0.0
奈良	17,572	1.1	1.5	X	X	X	X	X	X
和歌山	8,800	▲ 10.4	▲ 6.0	X	X	X	X	X	X
全国	1,672,171	▲ 3.5	▲ 3.4	462,840	▲ 15.1	▲ 13.6	1,209,331	2.1	1.8

## 対前年同月比

商品	総合		百貨店		スーパー	
	全店	既存店	全店	既存店	全店	既存店
合計	▲ 7.7	▲ 7.0	▲ 16.5	▲ 15.3	▲ 1.7	▲ 1.1
衣料品計	▲ 21.2	▲ 19.9	▲ 18.7	▲ 17.8	▲ 27.5	▲ 25.8
紳士服・洋品	▲ 25.5	▲ 24.4	▲ 23.8	▲ 23.2	▲ 28.5	▲ 26.6
婦人・子供服・洋品	▲ 19.8	▲ 18.5	▲ 17.5	▲ 16.5	▲ 27.6	▲ 25.5
その他の衣料品	▲ 20.2	▲ 18.1	▲ 15.3	▲ 13.7	▲ 27.8	▲ 25.1
身の回り品	▲ 10.9	▲ 9.8	▲ 11.5	▲ 10.6	▲ 8.2	▲ 5.7
飲食料品	▲ 0.3	0.1	▲ 11.6	▲ 9.4	2.7	2.8
家具・家電・家庭用品計	▲ 17.1	▲ 16.1	▲ 28.7	▲ 28.1	▲ 7.1	▲ 5.2
家具	▲ 44.6	▲ 43.9	▲ 51.5	▲ 51.3	▲ 23.7	▲ 20.4
家庭用電気機械器具	▲ 14.3	▲ 13.6	▲ 60.8	▲ 60.8	▲ 7.0	▲ 6.1
家庭用品	▲ 6.6	▲ 4.9	▲ 9.6	▲ 8.6	▲ 3.9	▲ 1.5
その他の商品	▲ 13.2	▲ 12.2	▲ 18.7	▲ 17.9	▲ 6.8	▲ 5.5
食堂・喫茶	▲ 32.5	▲ 31.6	▲ 31.4	▲ 29.7	▲ 44.8	▲ 51.3

(2) 運輸業 JR西日本 年末年始期間の利用状況

年末年始（12月25日～1月5日）における利用状況は前年比で大幅に下回った。

主要駅の利用状況

	前年同期間比		
	大阪駅	京都駅	三ノ宮駅
利用者数 (万人/日)	8.4	3.4	2.8
前年比	51%	46%	57%

新幹線・在来線特急・近畿圏の利用状況

	前年同期間比			
	山陽新幹線	北陸新幹線	在来線特急	合計
利用者数 (万人)	63.5	13.0	27.9	104.4
前年比	29%	35%	29%	30%

(出典：JR西日本ホームページ)

(3) 宿泊業 宿泊施設タイプ別客室稼働率（全国数値） 10月

(%)

全体	前年 同月比	旅館	前年 同月比	リゾート ホテル	前年 同月比	ビジネス ホテル	前年 同月比
42.8	▲ 20.8	36.5	▲ 3.0	45.0	▲ 12.8	51.0	▲ 26.3

シティ ホテル	前年 同月比	簡易 宿所	前年 同月比	会社・団体 の宿泊所	前年 同月比
44.3	▲ 36.3	15.4	▲ 17.3	13.1	▲ 13.7

(出典：観光庁宿泊旅行統計調査)

(4) 自動車製造 新車販売台数（全国数値） 12月

車種	当月(A)	前年(B)	A/B%	本年累計	前年累計	対比%
普通乗用車	128,374	112,741	113.9	1,356,163	1,586,342	85.5
小型乗用車	82,322	82,024	100.4	1,122,669	1,235,544	90.9
小計	210,696	194,765	108.2	2,478,832	2,821,886	87.8
普通貨物車	14,718	13,594	108.3	160,678	182,391	88.1
小型貨物車	17,724	17,609	100.7	231,683	267,007	86.8
小計	32,442	31,203	104.0	392,361	449,398	87.3
バス	615	983	62.6	9,334	13,586	68.7
合計	243,753	226,951	107.4	2,880,527	3,284,870	87.7

(出典：一般社団法人 日本自動車販売協会連合会)

## 【新型コロナウイルス関連破たん状況】

	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県	鳥取県	徳島県	連合計	全国計
件数	7	12	88	45	8	3	2	3	168	973

(出典：東京商工リサーチ 「新型コロナウイルス」関連破たん状況【1月28日現在】)

## 【雇用関係】

○就業状態別 産業別就業者数及び完全失業率

	2020年12月			2020年11月		
	実数	対前年同月		実数	対前年同月	
		増減	増減率(%)		増減	増減率(%)
〔雇用形態別雇用者〕						
正規の職員・従業員	3534	16	0.5	3547	21	0.6
非正規の職員・従業員	2093	-86	-3.9	2124	-62	-2.8
〔主な産業別就業者〕						
農業、林業	182	-13	-6.7	201	-11	-5.2
建設業	497	9	1.8	505	-8	-1.6
製造業	1054	-11	-1.0	1043	-19	-1.8
情報通信業	257	21	8.9	247	19	8.3
運輸業、郵便業	347	1	0.3	343	2	0.6
卸売業、小売業	1057	-22	-2.0	1065	-1	-0.1
金融業、保険業	168	-11	-6.1	170	-7	-4.0
不動産業、物品賃貸業	136	5	3.8	149	19	14.6
学術研究、専門・技術サービス業	250	2	0.8	253	2	0.8
宿泊業、飲食サービス業	385	-29	-7.0	391	-29	-6.9
生活関連サービス業、娯楽業	231	-3	-1.3	248	9	3.8
教育、学習支援業	350	9	2.6	345	12	3.6
医療、福祉	871	32	3.8	871	26	3.1
サービス業(他に分類されないもの)	442	-21	-4.5	445	-15	-3.3
〔完全失業率(%,ポイント)〕						
総数	2.8	0.7	...	2.8	0.6	...

(出典：総務省統計局 労働力調査(基本集計) 2020年(令和2年)11月及び12月分結果)

## 【観光関係】

(1) 訪日外客数→

新型コロナウイルス感染症の拡大により、2月以降順次水際対策が強化されたことに伴い、訪日外客数は激減した。7月以降、国際的な人の往来再開に向けた措置が段階的に進められ、ビジネス目的(順次、留学、家族滞在等のその他の在留資格へも拡大)の入国が限定的ながら再開されたが、観光目的での入国は、現在まで認められていない。

(単位：人)

	2019年	2020年	伸び率(%)
1~12月	31,882,049	4,115,900	-87.1
4~12月	23,828,252	176,073	-99.3

(出典：日本政府観光局 訪日外客数(2020年12月推計値))

(2) 関西国際空港利用状況

国内線は9月以降旅客数が回復基調にあったものの、感染者数増加に伴う移動の自粛により回復率が鈍化。国際線も増加傾向にはあるものの依然として限定的。国際貨物便については、旅客便減少による供給のひっ迫から、運航便数が大幅に増加したものの、貨物扱量自体は微減。

- ・ 総発着回数：5,883回（前年同月比67%減）
- ・ 総旅客数：25.3万人（前年同月比90%減）
- ・ 国際線貨物便発着回数：2,230回（前年同月比73%増）
- ・ 国際貨物扱量：63,564トン（前年同月比3%減）

（出典：関西エアポート株式会社 2020年12月利用状況）

【今後の予測】

○関西の実質 GRP 成長率を 2020 年度-5.1%、21 年度+3.6%、22 年度+1.7%と予測する。20 年度は記録的な大幅マイナスとなる。21 年度は3年ぶりのプラス成長となり、22 年度も緩やかな回復が見込まれる。

（出典：（一財）アジア太平洋研究所 関西経済の現況と予測 No.52 2020年12月28日付）

【その他】

○近畿の主要経済指標（出典：近畿経済産業局 令和3年1月20日付 近畿経済の動向）

	令和2年12月(令和2年10月指標中心)	令和3年1月(令和2年11月指標中心)
総括判断	厳しい状況にあるが、一部に持ち直しの動きがみられる	厳しい状況にあるが、一部に持ち直しの動きがみられる
生産	持ち直しの動き	持ち直し(↑)
個人消費	一部に弱い動きがあるものの、持ち直している	→
設備投資	増加している中、伸びは鈍化傾向	→
住宅投資	弱まっている	→
公共投資	請負金額は前年同月を下回った	→
輸出	前年同月を上回った	前年同月を下回った
雇用	弱い動きとなっている	→
倒産	件数は前年同月を下回った	→